

2021年2月25日（木曜）

## 全労金2021春季生活闘争ニュース・第3号

【全労金2021春季生活闘争統一スローガン】  
今こそ全国の仲間と思いをひとつに！心は密に団結を！

全14単組で要求書を提出し、本格的に交渉が開始されました。  
全労金 9,000名の思いをひとつに、心は密に団結して闘い抜きましょう！

### ◎全労金は、第144回中央労使協議会を開催し、全労金方針の主旨を説明しました！

全労金は、2月24日13時30分から、労金協会と第144回中央労使協議会を開催しました。協議会では、まず全労金・末留中央闘争委員長が2021春季生活闘争の開始にあたり挨拶した後、労金協会・中江理事長が挨拶しました。その後、櫻井副中央闘争委員長から全労金2021春季生活闘争方針の主旨を説明するとともに、協会に対し、新型コロナウイルス感染症の影響による特殊な環境下で進める春季生活闘争にはなりますが、単金単組が真摯に交渉を進めることができるよう、中央機関としての役割発揮を求めました。

#### ◆末留中央闘争委員長挨拶要旨

2020年度も終わりに近づいているが、この1年を振り返ると、コロナで始まり、今もなお大きな影響を受けている1年だったと認識している。

全労金は、こうした情勢・認識の中、1月28日に第72回中央委員会を開催し、2021春季生活闘争方針を満場一致で確認した。

新型コロナウイルス感染症の感染が収束しない中、全国の職場では、労働金庫が社会機能の維持に不可欠な金融インフラであることに加えて、新型コロナウイルスにより影響を受けた利用者への迅速、適切かつ柔軟な対応に努めており、労働金庫の役割を發揮するために、役職員・組合員は奮闘している。

この奮闘に応え、労金業態で働くすべての労働者が、安心して働き続けることができる職場環境・労働条件を実現するため、全国14単組は、全労金方針に基づき単組2021春季生活闘争方針を確立し、本日2月24日を全単組統一の要求書提出日として、金庫・事業体・関連会社に要求書や申入書を提出する。

全労金2021春季生活闘争においては、新型コロナウイルス感染症の収束が未だに見通せない状況の中で進める闘争であることを踏まえ、運動の基調で掲げた「組織風土の改革」を実現する観点から、統一要求を掲げることはせず、優先して取り組む課題を設定し、いわば要求項目を厳選して取り組む特別な春季生活闘争である。

本日以降、単金・単組で本格的な労使交渉が始まる。全労金は、この間、労金業態に課せられた諸課題を克服するためには、労使間の対等なパートナーシップの確立が不可欠であると強調してきた。

全労金組織の2021春季生活闘争に臨む姿勢を踏まえれば、私たちの要求に誠意をもって回答することで、職員・組合員のやる気や働きがいを引き出し、労金業態で

働くみなさんが、労金業態を退職することなく、安心してやりがいをもって働き続けることができ、職員幸福度を向上し、労金業態で働く意義を再認識でき、ひいては、労使双方が共通認識のもとで厳しい事業環境を乗り越え、労金運動の安定と発展につながっていくと認識している。

すべての単金・単組が、様々な視点から交渉を行い、回答期限日の3月16日までに労使双方が納得する形で解決し、新年度を前向きに迎えられるよう、労金協会には労働組合との交渉・協議について、要求に応えられる・応えられないだけではなく、要求の主旨を理解しようとする真摯な対応に努めること、経営責任として労働組合への説明責任をしっかりと果たすよう指導する等、中央機関としての役割を十分に発揮していただくことを期待する。

#### ◆中江理事長挨拶要旨

コロナ禍が長期化する中で、労金業態としては、労働金庫の役割発揮として、勤労者の生活を支援するための更なる取り組みを、現在検討しているところである。

また、今回のコロナ禍を受けて、社会のデジタル化が加速している。労金業態においても、非対面取引であるとか、リモートワークであるとか、オンライン会議であるとか、労金業務の在り方・働き方が大きく変わりつつある。社会全体の在り様が大きく変わろうとしているこれらの変化に対し、私たちは、多様な働き方を可能にする、あるいは、育児や介護、治療と仕事を両立させるといった形で、労使で業態をあげて取り組んでいる「労働金庫にふさわしい組織風土の確立」に繋げていかなければならないと考えている。

全労金2021春季生活闘争方針、並びに、各単組から出される要求書については、労金協会・全国の金庫で要求の主旨を十分に理解したうえで、真摯に検討していく。そのうえで、円滑・率直な協議を通じて、すべての単金単組が納得して3月16日を迎えることができるよう、中央機関の役割を發揮していきたい。

最後に、須田専務からは、「労金には社会的インフラとしても機能発揮が求められている」「働き方や処遇をどのように考えるか、労金で働いていて良かったと思えるよう、モチベーションの観点でも議論したい」「目先のことだけではなく、地域の特性も踏まえ、本日説明を受けた内容をしっかりと受け止め、各金庫とも連携し、従来にない中央機関としての役割発揮が求められているとの思いで、3月16日に向けてしっかりと検討のうえ、必要な対応を図っていきたい」等の所感が表明されました。

以上

